

日本美しい森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはず。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林につつまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

利用する皆様への国有林からのお願い

- 1 動植物の保護にご協力ください。ペットの連込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- 2 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- 3 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定地外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- 4 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- 5 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないかなど、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- 6 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝えるとともに、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。また、冬山の登山、山スキーなどでは雪崩に警戒してください。
- 7 悪天候のときは入林をお控えください。
- 8 食品残渣を介したCSFウイルス伝播防止のため、ゴミは必ずお持ち帰りください。併せてゴミ箱の撤去等の対策を進めておりますので御理解のほどお願いします。
- 9 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- 10 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- 11 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理庁又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

七里御浜風致探勝林 アクセス MAP



アクセス方法

公共交通機関の場合	熊野市駅	七里御浜風致探勝林
名古屋駅	特急ワイドビュー南紀 約3時間	紀勢本線 有井駅 徒歩 約5分 約7分
天王寺駅	特急くろしお 特急ワイドビュー南紀 約5時間	紀勢本線 紀伊市木駅 徒歩 約10分 約2分
新宮駅	紀勢本線 約30分 紀勢本線 約5分	紀勢本線 阿田和駅 徒歩 約15分 約3分
		熊野市駅 徒歩 約5分 約5分
車の場合	名古屋	東名阪自動車道・伊勢自動車道・ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路 約2時間30分
	大阪	阪和自動車道 南紀田辺IC 国道311号・国道168号 約1時間55分 約1時間45分

七里御浜風致探勝林

所在地：三重県熊野市有馬町、南牟婁郡御浜町阿田和、紀宝町

お問い合わせ先：

三重森林管理署

電話番号：0595-82-0069

七里御浜松林を守る協議会

(事務局 紀宝町役場 産業振興課内)

電話番号：0735-33-0336

林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

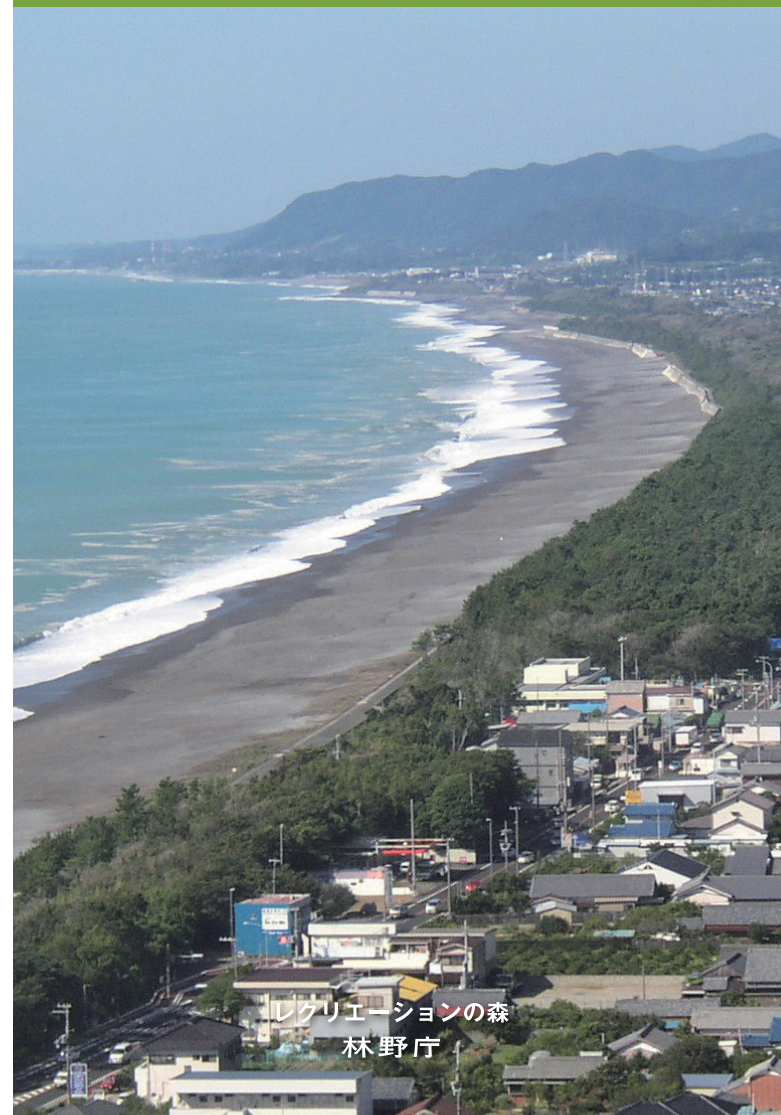
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html



Recreation
Forests of JAPAN

七里御浜 風致探勝林

アオミガメと出会う熊野古道



レクリエーションの森
林野庁

白砂青松の熊野古道をゆく～延々と続く25kmの海岸林～

しちりみはま 七里御浜風致探勝林案内図



気候等と植生・野生生物

年間を通して気候は温暖ですが、降水量が比較的多いエリアです。

隣接する海岸はアオウミガメが産卵に来ることで知られており、地元では産卵場所の保全活動やふ化の支援活動が行われています。また、道の駅「紀宝町ウミガメ公園」にはアオウミガメやアカウミガメが泳ぐ水槽があり、餌(えさ)やり体験もできます。

植物はクロマツ、アカマツ以外にも常緑広葉樹のクスノキやアオキ、ヒサカキ等の植物が自生しており、海風により傾いた樹木が多くあります。



楽しみ方

七里御浜海岸に沿った深緑の松林、紺碧の熊野灘、白砂の海岸が織りなすコントラストは絶景で、特に熊野古道の松木峠(熊野市)からの眺めがお薦めです。また、近くには熊野古道と合わせて世界遺産に登録された観光名所、イザナミノミコの御陵



である花の窟神社もあります。社殿がなく、熊野灘に面した高さ約45mの巨岩のご神体は必見です。

熊野市から熊野速玉大社(新宮市)に至る七里御浜沿いは、熊野古道伊勢路「浜街道」と呼ばれ、多くの観光客も訪れるようになりましたが、林内の遊歩道は熊野灘と海岸線やマツ林の景色に癒やされる場所で、1年を通してウォーキングや散策の場として住民に利用されています。

地理的・地形的特徴

紀伊半島の吉野熊野国立公園内(三重県の南部)に位置し、熊野市から御浜町を經由して紀宝町まで続く約25kmの七里御浜海岸は、日本で一番長い白砂(されき)海岸として知られており、七里の名は海岸の長さに由来しているといわれています。熊野灘に面した海岸と平行して走る国道の間には幅約120mの松林が遙か彼方まで続きます。白い砂浜と緑の松林、遠くに紀伊の山々を望む景色は大変美しく、「日本の白砂青松100選」や「日本の渚100選」等に選ばれています。



歴史的・文化的特徴

「熊野古道」は、古来より自然信仰の対象となっている「熊野三山」「吉野・大峯」「高野山」という3つの霊場を結ぶ参詣道であり、その霊場と原生林等も含めたエリアが2004年に世界遺産に登録されました。当レクリエーションの森は熊野古道のうちの「浜街道」に接し、江戸時代には熊野三山へ詣でる道として多くの巡礼者に利用されました。その賑わいぶりは相当なもので、「蟻(あり)の熊野参り」といわれるほど長い行列が続き、伊勢や熊野に度々お参りするさまは「伊勢へ七度、熊野へ三度」と例えられ、人々の厚い信仰を集めていました。熊野灘から吹き付ける強い潮風から地域住民を守るために植栽されたマツは、防風林として地域住民を守り続けており、1983年には2,000か所以上の候補地の中から、「21世紀に残したい日本の自然100選」に選ばれました。



施設情報

- 標高 約0～15m
- 面積 80.47ha
- 入園料 無料
- 開園期間 通年24時間利用可能。
- 宿泊 【レク森外】熊野市を中心に旅館・ホテル約10軒、民宿あり
- 駐車場 熊野・花の窟(いわや): 普通車25台、大型車3台・無料
パーク七里御浜: 普通車266台、大型車14台・無料
紀宝町ウミガメ公園: 普通車46台、大型車5台・無料